

# ベースプロテクト

## Base Protect

基礎を保護し、劣化を防ぎます。

基礎巾木部は、雨や湿気の影響を著しく受ける部位です。そのため塗膜は他の部位と比較して劣化が進行しやすく、ひび割れや塗膜の膨れなどの欠陥を生じる危険性が高くなっています。

ベースプロテクトは、塗膜に通気性を持たせることにより、水分の影響を受け難い塗膜構造を実現しました。さらに土台を支えるコンクリート基礎部に必要とされる中性化防止機能を兼ね備え、建物の保護に大きな役割を果たします。



標準色



BP-070 (N-70) BP-075 (N-75) BP-080 (N-80)

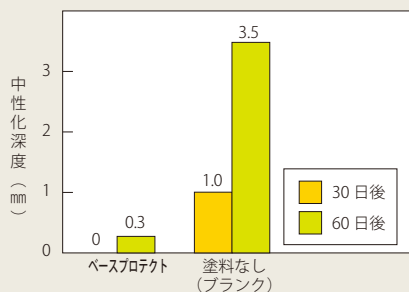
※印刷のため、実物とは多少異なります。ご了承ください。  
なお（ ）は、(一社)日本塗料工業会の近似色の色番号を表しています。

特 長

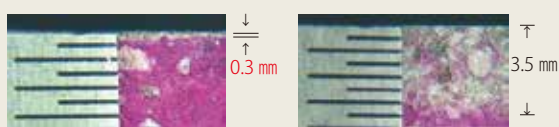
### 中性化抑制

水分や炭酸ガスの浸入を防ぎ、コンクリートの中性化を抑制します。

<社内法>



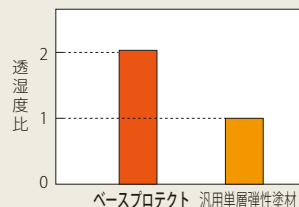
<断面図>



※写真中のゲージ (左部) は、1目盛=0.5mm

### 優れた透湿性

高い透湿性により、膨れなどを抑制します。



透湿度試験  
透湿度比：  
汎用単層弾性塗材を1とした時の透湿度の  
相対比率。  
ベースプロテクトは汎用単層弾性塗材の  
約2倍の透湿度を示す。

### 優れた下地追従性

塗膜は微弾性を示すため、優れた下地追従性を発揮します。

### 高耐久性

耐候性の高い特殊変性アクリルシリコン樹脂と、光安定効果の相乗効果で、長期に亘り高い耐久性を発揮します。

### 防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻類等の微生物に対して強い抵抗性を示し、長期に亘り衛生的な環境を維持します。

## 標準施工仕様

### 【新築】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	・下地はよく乾燥させ、含水率 10%以下・pH10 以下としてください。 ・付着物は完全に除去し、傷・不陸・目違いなどは補修調整してください。							—
下塗り	水性ミラクシーラーエコ (クリヤー・ホワイト)	既調合	0.10 ~ 0.13	1	—	2 以上	—	ウールローラー
主材塗り	ベースプロテクト	100	0.7 ~ 1.0	2	2 以上	—	24 以上	SPローラー (マステックローラー細目)
	清 水	5 ~ 8	—					

### 【改装】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	・高圧水洗浄 (10~15MPa) 後は十分に乾燥させてください。 ・表面汚染のひどい部位は、SKクリーナースーパーにて事前に洗浄してください。 ・幅0.5mm以上のひび割れが認められる場合は、Vカット処理し、弾性パテ等で充填処理する等、適切な処理を行ってください。 ・エプロレッセンスの析出や流出が認められる場合や付着物が認められる場合は、ワイヤーブラシやサンドペーパー等により十分に除去してください。 ・浮きが認められる場合は、はつり除去後、ミラクフアンドKC-3000などで補修してください。							—
下塗り	水性ミラクシーラーエコ (クリヤー・ホワイト)	既調合	0.10 ~ 0.15	1	—	2 以上	—	ウールローラー
主材塗り	ベースプロテクト	100	0.7 ~ 1.0	2	2 以上	—	24 以上	SPローラー (マステックローラー細目)
	清 水	5 ~ 8	—					

※下地が脆弱な場合は下塗材として、★一液マイルドシーラーES (14 kg石油缶) をご使用ください。

## 施工上の注意事項

- 水性ミラクシーラーエコは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗いで水の塗装器具の洗浄は行わないでください。
- マステックローラー細目はメーカーにより目の大きさが異なる場合があります。SPローラー以外のマステックローラー細目を使用する際はご注意ください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かびや藻が付着している場合は、SKカビ除去剤#5 (塩素系) にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境 (温度、湿度、換気、風通しやすさ) や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、ローラー塗りとは仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合があります。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所への使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 強風雨、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 土壌に接触するような立ち上がり部位では、直接土壌に接触しないように施工してください。また、下地の汚れやほこり、ごみなどは、ブラシ等により十分に洗浄し、下地の乾燥を十分に行ってから塗装してください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

## 用 途

住宅の基礎巾木 (コンクリート、セメントモルタル)

※絶えず結露するなど湿潤環境にある基礎部分には塗装しないでください。

## 荷 姿

水性ミラクシーラーエコ (クリヤー・ホワイト) 15kg石油缶 (標準塗坪100~150m<sup>2</sup>/缶)

ベースプロテクト 20kg石油缶 (標準塗坪20~28m<sup>2</sup>/缶)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

## 性能試験成績表

JIS A 6909 建築用仕上塗材 外装薄塗材Eによる物性結果

試験項目	結果	品 質
低温安定性	合格	塊がなく組成物の分離及び凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがない。
付着強さ標準状態 (N/mm <sup>2</sup> )	1.1	0.5以上
浸水後	1.3	0.3以上
温冷繰り返し	合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性A法 (mm)	0	10.0以下
耐洗浄性	合格	剥がれ及び摩擦による基板の露出がない。
耐衝撃性	合格	ひび割れ、著しい変形及び剥がれがない。
耐アルカリ性A法	合格	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくない。
耐候性A法	合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上とする。

## 危険情報と安全対策

製品の取扱いは、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。特に★印のついている製品はすべて溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
  2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
  3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないよう十分に注意してください。
- ※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途施工仕様書等をご確認ください。

## 施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

